

事業名【担当課】

16.防災事業【安心安全課】

全体に対する意見・提案等

防災のインフラの利活用、運用を効果的に行えるようご検討ください。

市役所の皆さんの行動だけではやはり限界があると思うので、様々な団体を巻き込んだ活動が必要であると考えられます。外部評価の際にも申し上げましたが、どうしても「やらされ感」は払拭できませんが、それでも経験をしておけば、有事の際には初動が違い人命を守る行動につながると思います。各種団体と協力・連携した訓練・講習会を地道に続ける必要があると思います。

香流川の洪水対策と景観の向上のため、県の管理であるようですが、県に具体的な要望をしたり、市として予算化したりし、前向きに取り組んでほしい。

課題に対する意見・提案等

安心メールは、非常に良いツールの一つだと思います。しかし、平常時においては、防災関係メールは発信量が少なく、市民に与えるインパクトも、あまり大きくないのが現状であると思います。よって、発信内容、発信表現等を工夫するなどして、平常時はもとより、いざ災害時には安心メールが頼りになるぞ、という市民の意識が高まるような内容にしていきたいと思います。

加えて、非常時(発災時)には、円滑な通信状態が確保されなくては意味がなくなりますので、そのための対応について、平時からいろいろな調査研究や調整等々を行っていただきたいと思います。

また、本市は、どちらかと言えば、災害に対して安心安全な街と感じられているところもあるようですが、いざという時は、想像をはるかに超える災害が発生する可能性があること等について、他都市で起こった事例を紹介するなどして、危機意識醸成の広報啓発にも努めていただきたいと思います。

安心メール登録者を10年後を目途に20,000人とする計画について、見直し・再検討をしてほしい。まず15,000人を目標とし、ちょうど15,000人目やその前後に登録した人に対し景品(クオカード、図書券等)を用意する等、安心メールに魅力付けをしてはどうかと提案します。

安心メールについては不審者についての続報を知らせてほしい。防災無線が聞こえない場所などには周知してもらう為にも学校などに協力してもらって自助共助の意識を高める必要がある。公園や避難所などに看板など説明書き(ここは〇〇地区にお住まいの方の一時避難所です等)を加えると住民の意識が高まるのでは。